

事務事業名	教育交流訪問団の受入・派遣事業				担当	教育委員会 学校教育課 教育政策係					
政策名	1	「人づくり」～豊かなこころアップ!～			☒ 総重（総合計画重点事業）	☐ 総新（総合計画新規事業）					
施策名	3	国際化に対応した教育			☐ 戦拡（総合戦略拡充事業）	☐ 戦新（総合戦略新規事業）					
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間	☐ 単年度のみ					
法令根拠						☒ 毎年度実施（開始年度 H1 年度～）					
予算科目	1.一般会計	10.教育費	3.中学校費	2.教育振興費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）					
予算科目											
予算科目											
事業概要	国際交流事業の一環として、市内6中学校がそれぞれ海外の中学校と姉妹校を結び、国際理解と友好親善に資するために相互交流を実施している。 ・真岡東中：アメリカグレンドーラ市ガダード中（平成2年11月9日姉妹校締結） ・真岡西中：台湾斗六市正心高級中（平成5年7月23日姉妹校締結） ・大内中：台湾斗六市正心高級中（令和6年度から真岡西中学校と共同交流実施） ・真岡中：オーストラリアオーストラリンド校（平成15年10月30日姉妹校締結） ・中村中：アメリカグレンドーラ市サンドバーグ中（平成18年11月3日姉妹校締結） ・山前中：姉妹校を締結しているアメリカボルチモア市サドブルック中から、令和7年6月30日をもって姉妹校関係を終了するとの通達を受けたことに伴い、真岡東中と姉妹校であるグレンドーラガダード中との合同交流に向け、調整を進める。 ・長沼、久下田、物部中学校は、姉妹校締結に向けた相互交流を実施している。 R6年度から本事業の海外派遣に参加する生徒への補助金を新設 補助金額 台湾1万円 アメリカ・オーストラリア3万円										

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）				④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
6年度実績 ・真岡中：訪問 ・真岡東中：受入 ・真岡西中・大内中合同：受入 ・中村中：受入 ・山前中：未実施（受入年度であるが相手方が派遣困難のため） ・長沼、久下田、物部中学校：オーストラリア ハーヴィー市 ハーヴィシニアハイスクール訪問				名称		単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
				ア 派遣人数		人	0	0	158	35	106
				イ 受入人数		人	0	0	28	49	20
				ウ 姉妹校締結数		人	6	6	6	5	4
				エ							
				オ							
7年度計画 ・真岡中：受入 ・真岡東中：訪問 ・真岡西中・大内中合同：訪問 ・中村中：訪問 ・山前中：真岡東中と姉妹校であるグレンドーラガダード中との合同交流に向け、調整を進める。 ・長沼、久下田、物部中学校：オーストラリア ハーヴィー市 ハーヴィシニアハイスクール訪問											
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 中学校生徒				⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
				名称		単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
				ア 中学校生徒数		人	2,223	2,247	2,172	2,162	2,127
				イ							
				ウ							
				エ							
				オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 姉妹校等生徒との交流を通じて、国際理解を深める。				⑥成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
				名称		単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
				ア 国際理解が深まった生徒数		人	－	－	2,172	2,162	2,127
				イ							
				ウ							
				エ							
				オ							
② 総事業費の推移				単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0	0	17,740		
			一般財源	千円	0	367	16,294	11,581	0		
	事業費計（A）			千円	0	367	16,294	11,581	17,740		

2. 1 次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 語学力と異文化理解、国際感覚を養うことは、国際理解教育の推進という市の施策と結びついている。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 生徒に国際感覚を身につけさせることは、市の施策であり妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	☒ 対象・意図を見直す必要はない ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある (評価理由) 市内の中学生を対象としており、国際交流を目的としているので妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地はない ☒ 向上余地がある (評価理由) ・二宮地区3中学校が姉妹校締結することで、さらなる国際理解と友好親善を図ることができる。 ・山前中が姉妹校を締結しているアメリカボルチモア市サドブルック中から、令和7年6月30日をもって姉妹校関係を終了するとの通達を受けたことに伴い、真岡東中と姉妹校であるグレンドーラガダード中との合同交流に向け、調整を進める。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	☐ 類似事業と統合・連携ができる (類似の事務事業名：) ☐ 類似事業と統合・連携できない (類似の事務事業名：) ☒ 類似事業はない (評価理由)
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある (評価理由) 教育国際交流に必要な経費である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性 (改革案・実行計画) ☐ 廃止 ☒ 見直し (☐ : 目的妥当性 ☒ : 有効性 ☐ : 効率性) ☐ 統合 ☐ 継続 市内全中学校で姉妹校締結が図れるよう支援を継続していく。	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(2) 課題、課題の克服の方向性 ・二宮地区3校の交流校との関係構築の支援 ・山前中が真岡東中と姉妹校であるグレンドーラガダード中との合同交流に向けた調整																						

4. 事務事業の2次評価結果 (事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足 (説明責任不充分) ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
					コスト																		
			削減	維持	増加																		
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項 二宮地区3校の交流校との関係構築の支援、および山前中が真岡東中と姉妹校であるグレンドーラガダード中と合同交流実施に向けての調整を進めること。																						